



## K-ABC 中央事例研究会のご案内

会員の皆様、いかがお過ごしですか。2020 年度はコロナ禍で中央事例研究会の中止が続きました。講演会と異なり事例を扱う研究会の性質からオンライン開催にもなかなか踏み切れずにはおりましたが、まだまだコロナの終息には程遠い状況ですので、今年度は「K-ABC アセスメント研究」で既に公表されている事例を基に、オンラインで学んで参りたいと思います。どうぞご参加ください。

記

**日時：**2021 年5月 29日(土) 14:30~16:30

**発表者：**盛永政和先生 (一般社団法人 LITTO-LABO 白鳳短期大学専攻科)

**テーマ：**二次障害を伴う ASD 児に対する個人及び学校への支援  
ー流動性推理を活用した即興型 SST 及び学校へのフィードバックー

概要: 本事例は学校における対人トラブルが絶えない児に対するソーシャルスキルトレーニング(SST)及びメンタルサポート, 並びに学校支援を行った事例である。対象児(A 児)は複数の医療機関等にて二次障害を含む異なる複数の診断又は判定を受け, 最後にかかった医療機関から出席停止の意見書を貰うまでに至った。本事例では当法人にて KABC-II を実施し, A 児に対する SST 並びにメンタルサポートを行うのみならず, 検査結果を家庭だけでなく学校にも提出したことを契機に学校でのケース会議に参加できることになり, 学校支援を行った。検査結果には A 児の認知特性だけでなく, 二次障害を含む障害特性について記載した。家庭と学校, そして外部機関が連携するためには情報の共有が不可欠だが, 対象児を真に理解し支援するためには, 関わる人間全てが認知特性だけでなく障害特性にまで踏み込んで理解することが重要であり, そのために検査及び検査所見が果たす役割は大きいと言える。

**開催方法：**zoom によるオンライン開催

**定員：**50 名(申し込み先着順とさせていただきます)

**申し込み資格：**日本 K-ABC アセスメント学会会員

**申し込み方法：**以下のアドレス宛にメールにてお申込みください。

- ・件名を「K-ABC 中央事例研申し込み」としてください。
- ・①氏名②会員番号③勤務先(学生の場合は大学名)④所属している地域研究会の 4 点を明記してください。
- ・折り返し, 参加の際の注意事項と zoom の URL をお送りいたします。
- ・事例を扱いますので配布資料はございません。  
また録音、録画もお控えいただきますのでご了承くださいませ。

**申し込み先：**honbu-jimu@k-abc.jp